

エコ&らいふ・宮城

Vol. 24

発行日：平成16年9月1日（年4回発行）



御本丸公園（コスモス園） 松山町
（写真提供：宮城県観光課）

【目次】

・特集1	はじめませんか。グリーン購入	1
・特集2	ポジティブ・アクション推進事業	3
・NPOと行政とのパートナーシップ		4
・特集3	芸術銀河2004	5
・実施報告	～宮城県少年の船2004～	6
・暮らしのインフォメーション		7
・コラム	宮城県とアメリカ合衆国デラウェア州との交流	
・お知らせコーナー		8

特集1 はじめませんか。グリーン購入

グリーン購入って何？

買い物の時に、まず必要かどうかを考えて、できるだけ環境に配慮した製品を選ぶことを「グリーン購入」といいます。

例えば、

- ・包装をなるべく省いた商品を選ぶ
- ・詰替品のある商品や、リターナブル瓶のように繰り返し使える商品を選ぶ
- ・古紙100%のトイレトペーパーを選ぶ
- ・省エネ型の電化製品を選ぶ

といった行動も「グリーン購入」なのです。

グリーン購入が広がれば、売る人は環境に配慮した製品（グリーンな製品）をたくさん店に置くようになり、作る人はグリーンな製品をもっと作るようになります。生活や仕事で使うものが、グリーンな製品になれば、温室効果ガスや廃棄物の処分量が削減され、地球環境への負担が軽くなります。グリーン購入は、わたしたちが身近に、今すぐ取り組める地球環境を守るための取り組みなのです。



宮城県も取り組んでいます！

平成12年に制定されたグリーン購入法により、県や市町村は、毎年度「環境物品等調達方針」を作成し、この方針に基づき、グリーン購入を推進することとなっています。県では、平成13年度から毎年調達方針を定め、すべての機関でグリーン購入に取り組んでいます。

また、「みやぎグリーン購入ネットワーク」（みやぎGPN）と連携して、県内におけるグリーン購入の普及を推進しています。

みやぎグリーン購入ネットワーク（みやぎGPN）の紹介

みやぎGPNは、グリーン購入に取り組む企業・民間団体・地方公共団体からなる緩やかなネットワークで、平成16年3月に設立されました。グリーン購入に関する情報の収集・発信、会員相互の意見交換、地域への普及活動などを通じて、環境負荷の少ない商品やサービスの地域的な市場形成の促進を目指しています。

今年度は、10月5日（火）に仙台市博物館において「グリーン購入シンポジウム」を開催するほか、グリーンな製品の展示会の開催などを予定しています。詳しくは、みやぎグリーン購入ネットワークのホームページ（<http://www.miyagigpn.net/>）をご覧ください。



【みやぎGPN設立総会の模様】

第1回グリーン購入世界会議 in 仙台が開催されます

10月6日（水）～7日（木）に仙台国際センターにおいて「第1回グリーン購入世界会議 in 仙台」が開催されます。この会議には、欧米やアジアなど国内外からグリーン購入関係者が多数参加し、意見交換をおこなうほか、今後の世界的なグリーン購入の指針となるべき「グリーン購入仙台宣言」を表明します。詳しくは、グリーン購入世界会議のホームページ（<http://www.ics-inc.co.jp/icgps/>）をご覧ください。

環境に配慮した製品＝「グリーンな製品」を選びましょう。

文具・事務用品



- 再生材料を使用している
- 消耗品が補充・交換できる
- リサイクルしやすい

家電製品



- 消費電力が少ない
- 冷媒にフロンガスを使用していない
- リサイクル設計されている

自動車



- 燃費がよい
- 排気ガスに有害物質が少ない
- リサイクルしやすいよう設計されている

●問＝環境政策課 環境計画推進班 電話 022-211-2663

H P <http://www.pref.miyagi.jp/kankyo-s/> Eメール kankyo-s@pref.miyagi.jp



ポジティブ・アクション推進事業

<ポジティブ・アクション>とは…

男性中心の職場慣行や男女の固定的な役割分担意識を解消し、女性が職場において能力を十分に発揮できるようにするための積極的取り組みです。

例えば、職場において、「営業職に女性がほとんどいない」「役職者は大半が男性である」などの差が男女労働者の間に生じていることが多くありますが、このような差は男女雇用機会均等法上の差別を禁止した規定を守るだけでは、解消できません。

そこで宮城県では、男女が共に生き生きと働き続けることができる就業環境づくりを進め、男女共同参画社会の実現を目指すために、女性労働者の能力発揮を促進するための積極的取り組みである『ポジティブ・アクション』の実施を促進することにしました。



【平成16年3月23日に開催した「職場におけるポジティブ・アクション推進フォーラム」】

<ポジティブ・アクション推進事業>とは…

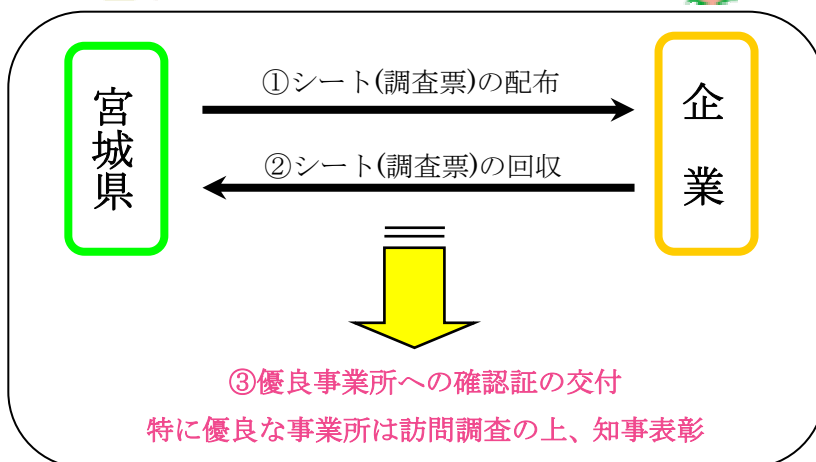
ポジティブ・アクション推進事業では、それぞれの企業において、具体的にどのような取り組みが行われているかを調査するとともに、事業主の皆さんに自己点検をしてもらうことにしています。

特に意欲的な取り組みをされている事業所については、知事表彰するとともに広く御紹介したいと考えています。また、ポジティブ・アクションの実践について知事から一定の条件に該当する旨の確認証の交付を受けた場合や知事表彰を受けた場合には、県で行う建設工事の入札参加登録等において評点を付与します。

調査対象は、県の公共事業等に入札参加しているすべての事業所になります。



～ポジティブ・アクション推進事業の流れ～



●問＝男女共同参画推進課 電話 022-211-2568

HP <http://www.pref.miyagi.jp/danjyo/> Eメール danjyo@pref.miyagi.jp



NPOと行政とのパートナーシップ

NPO・青少年協働促進事業

みやぎNPOプラザでは、青少年が個性豊かな主体性ある人に育っていただくために、平成13年度からNPO・青少年協働促進事業を行っています。

本事業は、NPO活動を理解してもらうため、活動に携わっている代表者を講師として各高校に派遣する「高校生とNPOの架け橋出前講座」と高校生とNPOが協働して事業を展開する「委託事業」から成り立っています。



「高校生とNPOの架け橋出前講座」では、平成15年度末まで県内35の高校、回数で55回、延べ6,867名の生徒の皆さんが受講されNPO活動について学んでいます。

これまで講師派遣の要請が最も多かったのが、障がいを持った人達が主体となり地域社会へ支援活動を行っている「C I Lたすけっと」という団体です。



代表者である杉山裕信さんは、講座の中で「『自分はダメな人間なんだ』という自己否定を、『自分でもできるんだ』という自己肯定に変えることによって人間も変わることができるんだ、それが大切なんだ」と力強く生徒の皆さんに呼び掛けています。

また、「C I Lたすけっと」は、高校生とNPO協働委託事業を、2回実施しています。



【車椅子で街歩き体験】

特に昨年度実施した「ひとにやさしいまちモデルワークショップ」では、高校生が障がい者や高齢者の視点に立ち、実際に車椅子で街を歩き、街の中で障害となっているものの調査を行い、ワークショップ形式で問題・課題等を整理しながら『ひとにやさしいまち』のモデルづくりに取り組みました。

参加していただいた生徒の皆さんからは「本当に貴重な体験をたくさんすることができました」等の感動を伴った喜びの感想が寄せられています。

いまやNPOは、社会全般にわたりさまざまな分野で活躍しています。高校生が地域のNPO活動に触れることは、進学や就職をはじめ、これからの生き方を考える一つの機会といえます。

みやぎNPOプラザでは、今後ともNPOと学校の架け橋に努めてまいります。

●問＝みやぎNPOプラザ 電話 022-256-0505

HP <http://www.miyagi-npo.gr.jp/> Eメール plaza@miyagi-npo.gr.jp

芸術銀河2004～みやぎ県民文化創造の祭典～

芸術銀河とは、みやぎらしい創造的な芸術文化圏を生み出すための文化事業です。毎年9～11月を中心に芸術文化事業（美術展、コンサートなど）を県内各地で開催しています。今回は美術展の開催を紹介します（美術展はすべて入場無料）。

1 みやぎ秀作美術展（気仙沼展・仙台展）

宮城県ゆかりの芸術家の優れた芸術作品（今回は彫刻部門10点・写真部門20点）を展示します。

話題のアーティスト安室奈美恵さんの写真撮影などでも活躍中の写真家でみやぎ夢大使の平間至さん（塩竈市出身）の作品をはじめとして、選りすぐりの秀作を集めて展示いたします。ぜひこの機会に御来場ください。



2 ニュー・アート・コンペティション of Miyagi [NACOM] (仙台展)

コンペティションで選ばれた若手の作家5人が、それぞれ8メートル×8メートルの部屋に個性豊かなアートの世界を作ります。どんな世界が広がるか、ぜひ御来場ください。

3 宮城県芸術選奨受賞者作品展（仙台展）

平成15年度美術部門（絵画、工芸ほか）の受賞者6人の優れた作品を展示します。

〔気仙沼展〕・・・みやぎ秀作美術展のみ

○ 日時＝10月2日（土）から10月11日（月）まで（休館：10月4日、10月5日）
午前9時30分から午後5時まで

○ 会場＝リアス・アーク美術館

〔仙台展〕・・・みやぎ秀作美術展、ニュー・アート・コンペティション of Miyagi、宮城県芸術選奨受賞者作品展の3展共通

○ 日時＝10月15日（金）から10月26日（火）まで
午前10時から午後7時まで（初日のみ午前11時から）

○ 会場＝せんだいメディアテーク6階ギャラリー

●問＝みやぎ県民文化創造の祭典実行委員会事務局(生活・文化課) 電話 022-211-2527
HP <http://www.pref.miyagi.jp/seibun/m-arts/index.htm> Eメール bunkas@pref.miyagi.jp

宮城県少年の船2004

研修テーマ

つなげよう～友情の輪～
～笑顔 勇気 思いやり～



宮城県少年の船2004は一般団員289人、高校生組リーダー21人を含む指導団員49人、計338人で研修テーマ、「つなげよう～友情の輪～」の下、船上で2泊（往復）、岐阜コース、富士コースのコース別でそれぞれ2泊3日、計4泊5日の研修を行いました。

仙台港での出発・結団式では浅野史郎宮城県知事から励ましの言葉を受けて、団員たちは元気にフェリー「いしかり」に乗船、名古屋港へ向かいました。



8月2日、名古屋港に到着。うだるような暑さの中、岐阜コース、富士コースに別れ、各研修先へバスで移動しました。

研修日程

8月1日(日)

12:20 仙台港出航
船上研修

8月2日(月)

9:20 名古屋港到着
船上研修
9:50 名古屋港出発
14:30 乗鞍青年の家到着(岐阜コース)
14:30 富士山麓山の村到着(富士コース)

8月3日(火)

各コース毎に活動
岐阜コース
森の手入れ、森のアーティスト等
富士コース
洞窟原生林探検等

8月4日(水)

11:45 富士山麓山の村出発(富士コース)
12:00 乗鞍青年の家出発(岐阜コース)
16:30 名古屋港到着
船上研修
20:00 名古屋港出航

8月5日

船上研修
17:00 仙台港到着

岐阜コース

岐阜コースは国立乗鞍青年の家に宿泊しながら、乗鞍岳の森林で「森の手入れ」や「森のア



ーティスト」などの自然体験や創作活動、「アウトドアクッキング」などを行いました。

富士コース

富士コースは静岡県立富士山麓山の村に宿泊しながら、富士山麓の自然を満喫しました。



中でも青木が原樹海での「洞窟原生林探検」で、氷の洞窟には驚きました。

8月5日、船上、各コース毎の研修を終え、団員たちは家族待つ仙台港へ到着。下船した団員たちは、研修を通して仲間との友情を深め、一回りも二回りも成長した姿が見られました。

●問＝青少年課 電話 022-211-2558

H P <http://www.pref.miyagi.jp/seisyo/> Eメール seisyo9@pref.miyagi.jp



暮らしのインフォメーション ～架空請求は無視!!～



電子通信料金未納の通達ハガキが公的機関のようなところから郵送されてきた。請求額、支払い方法を知らせるので連絡をくれるよという内容だが全く心当たりがない。どうすれば…。

実在しない公的機関の組織を名乗り、情報番組の料金未払いを通知してくる架空請求トラブルが多発しています。不審に思って連絡すると相手は生年月日や勤め先など個人情報を巧みに聞き出そうとします。その結果、より詳しい個人情報を相手に知られてしまい、更なるトラブルに巻き込まれる可能性も出てきます。差出人の名称に惑わされたり、強迫的な文面に怯えず、落ち着いて冷静に判断し、身に覚えのない請求であるなら、「至急連絡するように」と書いていても一切応じる必要はありません。「架空請求は無視する」のが被害に遇わない一番の対策です。

●問＝消費生活センター 電話 022-261-5164

HP <http://www.pref.miyagi.jp/syouhi-sc/> Eメール syohis@pref.miyagi.jp



宮城県とアメリカ合衆国デラウェア州との交流



宮城県ではアメリカ合衆国デラウェア州と姉妹県州締結を結び、さまざまな友好交流を推進しています。交流事業の一つとして実施している「海外交流ネットワーク人材養成事業」では、相互に大学生の派遣を行っており、平成16年度も本県からは宮城大学の早坂大地さんがデラウェア大学に派遣されています。デラウェア大学からはエリザベス・シャヒーン・ダムキさんが研修生として宮城県庁に派遣され、約1ヶ月間、国際交流課に席を置いて県庁などで様々な仕事を学びました。エリザベスさんが研修で学んだことを、「とても難しい」と言っていた日本語でまとめてくれましたので、御紹介します。

県庁のおもしろいこと

県庁では主に広報について勉強しましたが、その間は毎日新しいことを経験しました。そのほとんどは、とても興味深い体験でした。県庁の消防システムから宮城県の自然保護に至るまで様々なことを学びました。ここで学んだことを説明します。

NHK: NHK仙台でテレビの生放送を見ました。NHKのプロンプター^(注)はCNNのプロンプターと違って、CNNのプロンプターはコンピューター・プログラムで動きます。しかし、NHKのプロンプターはビデオ・カメラを使っています。

天井にキャスターの原稿を映す小さいビデオ・カメラが取り付けられています(右図)。

(注)読み手の原稿をカメラで映し正面の画面に表示する機器。視線をカメラに向ける事が可能となる。



日本の情報公開: 私は情報公開室へ行く機会がありました。日本の政府はアメリカの情報公開を参考にしていますが日本の情報公開のほうが優れていると思います。日本の政府はコピー料金だけを請求します。

ですから宮城県でも全ての県民が利用できます。しかし、アメリカでは政府が情報を提供したくないため、政府がコピー料金に加えて公務員の労働時間分も請求します。このため、情報公開を本当に使えるのは、お金持ちの会社だけです。こうしたことから、情報公開は日本の政府のほうがアメリカよりオープンです。

宮城県政テレビ: アメリカの政府はマスメディアに番組を持つことができません。アメリカでは政府が番組を持つと、癒着を連想します。(宮城県では、「みやぎ情報クルーズ～ミュン」(ミヤギテレビ)と「たきたて!みやぎDON」(仙台放送)を放送中)

本当にとても興味深い体験でした。アメリカは宮城県とおもしろい相違があります。宮城県を覚える機会をどうもありがとうございました。——エリザベス・シャヒーン・ダムキ デラウェア大学の三年生

●問＝国際交流課 国際交流班 電話 022-211-2277

HP <http://www.pref.miyagi.jp/kokusai/> Eメール kokusai@pref.miyagi.jp



お知らせコーナー



国際交流

●「多文化共生社会を考えるシンポジウム」 参加者募集

- ◇日時：10月31日(日)午後2時から
◇場所：ネ！ットU仙台市情報・産業プラザ
 セミナールーム(2)(アエル6階)
◇内容：地域で暮らす様々な国籍や文化を持つ人
 々が、互いの文化的違いを認め、対等な関係を
 築こうとしながら共に生きていく社会、いわゆ
 る「多文化共生社会」の実現に向けて考えます。
 基調講演及びパネルディスカッションの2部構
 成で開催する予定です。
◇参加費：無料 お気軽に御参加下さい。
 (国際交流課 調整企画班 電話022-211-2289)

自然

●ネイチャーフィーリング(五感で楽しむ自 然観察会)参加者の募集

- ◇日時：10月9日(土)午前10時から
◇場所：水の森公園(仙台市)
◇内容：からだの不自由な方でも楽しめる自然
 観察会(手話、車いす介助、歩行介助あり)
◇定員：40人(抽選)
◇参加費：無料
◇申込み：9月15日(水)
 までに自然保護課へ
(自然保護課 自然保護班 電話022-211-2674)



環境

●みやぎエコファクトリー立地促進特別奨励 金交付対象事業所の第1号指定

- 7月15日、(有)ヨシムラが、みやぎエコファ
クトリー立地促進特別奨励金交付対象事業所の
第1号指定を受けました。
(有)ヨシムラでは、来年1月から本格施行され
る自動車リサイクル法に対応するリサイクル施
設を、エコファクトリーに指定されている若柳
町大林農工団地内に建設し、年間6,800台の処理
を行っていくこととしています。11月の操業
を目指し、操業後は、施設の積極的公開等を予
定しています。
(資源循環推進課 普及促進班
電話022-211-2657)

環境

●9月は「廃棄物不法投棄防止強化月間」

廃棄物の不法投棄は法律で禁止されており、
違反した場合には処罰されます。
美しいふるさと宮城を、次の世代に残すため、
一人ひとりがごみを減らすことに努めるととも
に、自らのごみについて責任を持ち、決められ
たルールに従って処理するよう心がけ、不法投
棄をなくしましょう。

不法投棄は他人ごとではすみません。

やっても、やらせても罪になります。

★不法投棄を見つけた場合は・・・

不法投棄・不適正処理情報ホットライン

<http://www.pref.miyagi.jp/haitai/sanpai110/>

に情報をお寄せください。

(廃棄物対策課 指導班 電話022-211-2648
または各保健所環境公害班)

「エコ＆らいふ・宮城」に対するご意見・ご要望については下記にお願いします。
980-8570 宮城県仙台市青葉区本町3-8-1 宮城県環境生活部環境生活総務課
電話 022-211-2612 / FAX 022-211-2598 / Eメール kanseisom@pref.miyagi.jp
HP <http://www.pref.miyagi.jp/kansei/>